

ショートトラックと「わざ」言語

Short track speed skating & “Waza gengo”

1K04B028-1

鶴澤 真理子

指導教員

主査 寒川恒夫先生

副査 土田武史先生

序章

古典舞踊の世界には、「わざ」言語というものがある。存在する。「わざ」言語とは、基本的言語性質の「普遍性」を持たないある特定の範囲内での技術伝達用語とされる。それは古典芸能の世界だけではなく、近代スポーツの世界にも存在しているのではないかと考えた。これまで、ショートトラックスピードスケートについて医学的研究は為されてきたが、文化人類学的視点からの研究は見当たらない。よって、自らがそれを行なうこととする。指導言語からみえるショートトラック競技者の身体意識を明らかにする試みを本研究テーマとした。

第1章

スケートの概略について示す。

スピードスケートは、オランダの運河建築がきっかけとなり 17 世紀末までにはあらゆる階級の人々に楽しまれる国民的スポーツに成長した。世界では 1892 年には国内組織体がほとんど揃い、競技制度も出来上がる。国際スケート連合の発足は、世界の競技団体中、1881 年に創立された国際体操連盟に次いで古いものである。1929 年、大日本スケート競技連盟が設立された。ショートトラックの最初の大会は 1938 年のイギリスといわれている。その後、ロングトラックの環境がない国において、室内の小さなトラックに代用された競技としてヨーロッパ、北米で普及した。日本でも、狭い土地環境から小さい室内リンクが好まれ、第2次世界大戦後には全国各地で建設され、ショートトラックの発展を促した。その後ショートトラック競技は 1992 年のアルベールビル・オリンピック大会で正式種目に採用されると世界的に広まりを見せた。発展当初は競技力で台頭していた日本であったが、当時に日本がノウハウを教えた中国、韓国が世界の頂点を極めるようになり、特に韓国の成長は著しく、非常に厚い選手層から続々とメダリストを輩出している。

第2章

フィールドワークにより得られた情報をまとめ、「わざ」言語の調査を支える周辺環境のデータとする。競技開始年齢を調査した結果、ショートトラック競技者が競技を始めるようになるのは、7歳から 10 歳の間が多いようである。スケートは他の競技に比べ専門性が高いため、運動感覚がほぼ固定し出す 10 代後半から始める競技者は少ない。指導者の人物像について調べたところ、「会社員」という答えが少なかったのは、ライフスタイルへの影響が強いコーチ・監督業は、会社勤めのサラリーマンには難しいという事実の表れで

あると考える。

ショートトラック競技者のルール意識を調査した結果、適用の根拠に理解を得られなかったものは、「フィニッシュラインの通過」のみであった。ショートトラック競技は、失格問題で国同士の関係に影響が出るなど、競技自体の普及度に対しては社会的注目度が高い。誰が見ても勝ち負けがわかり面白いスポーツであると感じてもらうために、ジャッジのガイドラインをもっと明確にすることが必要である。

第3章

指導言語に地域特性をみる。変化はあまり見られない。それでも競技全体を通していくつかの特殊な動作言語が存在することが確認できた。つまり、ショートトラックにおける特殊な言語、「わざ」言語が見出せたのである。

「わざ」言語の使用意義とは、学習者のイメージ・プロセスを明確化することにある。しかし、教育の大義でもある普遍性を見出しという点で、「わざ」言語にはそもそも普遍性が存在し得ないことから、教育的効果の発揮は見込まれないとする訳である。しかし上記で示された「わざ」言語による学習者のイメージ・プロセスによれば、相手の伝えたいことを「想像する」作業と、「読み取る」作業が常に繰り返されることになる。「空気が読めない」という表現が新聞などでも使われるようになった今、相手の伝えたいことや周囲の状況を「想像」し「読む」ことのできる人間が強く求められている。その点で、「わざ」言語は、今後の日本の人材育成において可能性を秘めたコンテンツであると考えられる。

結章

今回の研究では、本題の仮定に対する思うような結果が出なかったが、調査を行なったことで新たに発見できたことも多くあった。今回の研究で私が取り扱った、「言語」や「ルール」といった問題は、競技パフォーマンスの観点から言えば、競技力の向上を目指すのにさほど関係のない話であるかも知れぬ。しかし、どんなにヒトが速く走れるようになっても、それがスポーツとして発展するためには、例えばその走り方を教える「言語」や、ルールに基づいた競技会を開催する「社会」が存在しなければ昇華されない。そしてその言語や社会を形成するのは結局のところ人類である。したがって、スポーツ人類学についての研究はすべてのスポーツにとって非常に有意義なことなのである。